

子どものけいれん・頭痛・ 発達などでお悩みの方へ

子どもは成長・発達し無限の可能性を秘めています、一方でまだまだ未熟な部分も多いです。子どもは、けいれん(ひきつけ)する事が多いと聞かれたことがあっても、いざ我が子がけいれんすると、親御さんはとてもびっくりされるかと思えます。けいれん以外にも、小児期には頭痛・首のすわりや歩くのが遅い・手足の力が入らない・眼の動きがおかしい・食べ物にむせる、落ち着きがない・勉強についていけないなどの、子ども特有の症状を認めることがあります。これらの症状は、小児科の中でも主に小児神経という分野に含まれます。

お悩みの方はお気軽に一度ご相談下さい(JCHO大和郡山病院 小児科)。



独立行政法人 地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization : JCHO
大和郡山病院
Yamato Koriyama Hospital



予約外来日: 毎週金曜日 15時~16時
場所: 大和郡山病院 小児科 (要予約)

診察予約のお問い合わせ:
月~金曜日(祝日除く) 9時~11時30分
TEL: 0743-53-1111(代表)まで

担当医師: 松井潤
【専門医資格】
日本小児科学会専門医
日本小神経学会専門医
日本てんかん学会専門医



【小児神経分野の特徴】

小児神経はけいれん、運動・知能・感覚・行動または言葉の障害など脳、神経、筋に何らかの異常がある子どもの診断、治療、指導を行う分野です。発達に心配のある子ども、てんかん発作をもつ子どもを診療し、様々な症状を持ちながらも、毎日の生活を安心して過ごせるように治療します。4ヶ月健診、1歳6ヶ月健診、3歳児健診などの乳児健診で頭の大きさや形の異常、発達の遅れを指摘された場合、精密検査は小児神経科医に紹介されます。

【対応している主な疾患】

①けいれんする疾患

熱性けいれん、てんかん、泣き入りひきつけ、脳炎脳症など。

②頭痛

片頭痛、てんかん、脳血管障害、副鼻腔炎など。

③眠りに関連する疾患

夜驚症、ナルコレプシー、むずむず脚症候群、不眠症など。

④力が入りにくくなる疾患

筋ジストロフィー、重症筋無力症、ギランバレー症候群など。

⑤脳性麻痺関連の疾患

⑥発達に関連する疾患

チック、自閉症、注意欠陥/多動性障害、学習障害、心身症など。

⑦その他

二分脊椎、神経線維腫症 I 型、その他希少疾患。